

SSKW

ダルク女性ハウス

ニュースレター



イラスト：ひとえ

■ 移転先探しに奔走する日々 ■

りえこ

みなさま、こんにちは！いつもあたたかいご支援をありがとうございます。雨に映える紫陽花が少しずつ色づき始め、梅雨の気配を感じる季節になってきましたね。みなさまはお変わりなくお過ごしでしょうか？

フリッカはビルの建て替えにより、35 年もいたこの場所から引っ越さなければならなくなっています。長いことずっと物件を探しているのですが、金銭的な問題や薬物依存者への偏見などで契約に至れなかったりと、厳しい状況が続きとても苦労しています。今の場所から近い場所で探していましたが、少し範囲を広げて考えていくことにしました。もし、何か良さそうな物件情報がありましたらお知らせください。そして移転に伴い、リフォームや引越しなどに多額な費用がかかります。いつもご支援いただいておりますが、引き続き献金のご協力をお願いいたします。

前回のニュースレターでは、今年35周年フォーラムをしたい！と宣言をしていましたが、移転先を探すことが優先になりそうです。

■ 48 歳、中学生やっています ■

みゆ

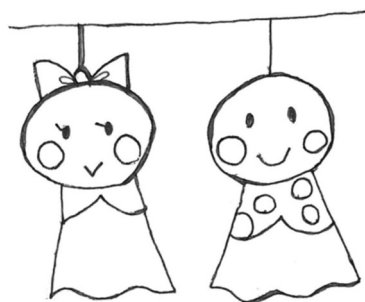
私は小学生の頃から、勉強が苦手でした。中学に入り、一年生の時にいじめにあってから、不登校になりました。そして、いつの間にか、たばこやお酒、薬を使うようになりました。他の人と違うことをすることで、大人になったような気がして、友人の家を転々としながら、薬を使う日々でした。

結局中学校は、ほとんど行かずに卒業しました。それから、ダルク女性ハウスにつながるまでの 20 年間、クスリを使い続けました。私は、いつも自分に自信がなく、コンプレックスを抱えています。今でもその時にやらなければいけないことから、いつも逃げてきました。だから自信がなく、不安や恐れが、今でも強いのだと思います。

ダルクにつながってからも、周りの仲間が高校に行きだしたり、仕事をしはじめたりする中で、私はすごく不安になり、この後どうしていいのかと悩みました。仲間のことがうらやましかったし、自分に仕事ができるのかもわからない中で、自分にできることを探そうと思いました。

高校は難しくても、中学ならば行けるかなと思いスタッフに相談したところ、たまたま近くに夜間の中学があることがわかり、通うことを決意しました。やったことのない事ばかりで、毎日が不安と緊張でいっぱいです。勉強もテストも怖いです。そんな日々を送り、この四月から三年生になりました。あっというまでした。学校生活を振り返って、やっぱり自分は勉強が苦手だし、何か大きく変わったかと言えば、自分では変わったような気はしません。もっとやれることが増えるかと思ったけど、そんな自分は自分でそんなもんなんだなあと思っています。

三年生になって、あと一年しかないことを思うと、もっと休まずに通えばよかったと思っています。残りの一年は、頑張って通いたいです。何かが劇的に変わったわけではないけど、毎日の勉強や式典でのスピーチなどとても良い経験をさせてもらっています。卒業までには、もっと自分に自信が持てたり、なにかできることが増えたり、好きなことが見つかったらいいなと思っています。だから、私は今日も、何かを見つけに学校にいきます！



■ フリッカにつながって、3 か月 ■

あーや

私は、入院中に主治医からの紹介を受けてフリッカ・ビーウーマンにつながり、通所することになりました。はじめて見学に来たときは、とても緊張して、女性だけの中にいることがとても怖く感じて、何か問題を起こしてしまうのではないかと、余計なことを言って誰かを怒らせたりしてしまうのではないかと、とても不安でした。

通所したての頃は、そんな不安を抱えながら通っていました。私の悪いクセで、勝手に思い込んで心はみんなに開いてはいない状態だったけれど、それでもただ漠然と日々「通所する」を続けたら、緊張もほぐれ、仲間が気にかけてくれたり、スタッフも「よく来たね」と言ってくれて、通所することが少しずつ楽しいと思えるようになりました。

最近ではスタッフに話を聞いてもらったり、仲間にも小さい相談ができるようになってきました。自分の居場所ができたような感じがしてうれしいし、毎日小さなことで笑いあえる環境がありがたいと思っています。

みんなと散歩に行ったり、プログラムを受けたり、食事をしたり etc... 今の心の状態は、フリッカに出会うまでの最悪な状態ではなく、いつも孤独感を抱えた自分でもない、つらくなったら話せる場所がある!!! 絶対に薬はやめられないと思っていたけど、今は一人ではないって思えるし、仲間がいるからきっと大丈夫。みんなに感謝しています。ありがとう。これからもよろしくお願いします。



B 型日誌



ダルク女性ハウスの就労継続支援 B 型事業所（リーブル工房）では、布小物の製作を行っています。メンバーの作品は、東京都福祉局が運営している KURUMIRU（常設 3 店とオンライン）や棚貸し書店の BOOKSHOP TRAVELLER、月に一度の北区障害福祉課主催のマルシェを中心に販売してきました。この春からは、フリーマーケットへの出店や、近隣の販売会などへの参加を通じて販売機会を広げていきたいと考えています。（詳細はインスタグラムでお知らせします♡）

販売活動は、メンバーの工賃向上につながることはもちろん、ダルク女性ハウスの活動を多くの方に知っていただく機会となり、また、お客さんとの交流や手に取っていただける喜びは、メンバーのモチベーションにもつながります。

病院や学校、地域のイベントへの出店や、お店に作品をおいてもいいよという委託販売などのお話がありましたら、ぜひお知らせください！よろしくお願いいたします！

*** いつもたくさんの献金・献品ありがとうございます ***
大切にに使わせていただきます 2025.3~2025.5

加藤博之 宗像博子 坂本久美 市原誠 河野麻美 山田恵美 黒川奈菜子
ヨネザワヒロシ 森裕子 古谷高子 千野洋見 秀島かおり 信田さよ子
栗原節子 若草プロジェクト 社会貢献支援財団 ソノリテ ワンステップ
コモン計画研究所 杉山直子 宮本容子 松村素子 岩下恭子 早苗麻子
松崎良子 細川幸子 山西理恵 小山さんノートワークショップ 五十公野けい
角田崇子 茨城ダルク 佐々木愛紗 松浦康子 クリ さと 須賀一郎
匿名一名 (敬省略 順不同)



100 投稿達成！
フォローしてね

発行人：157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17-102
特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会
編集人：114-0014 東京都北区田端 6-3-18-301
特定非営利活動法人 ダルク女性ハウス



ホームページ



インスタグラム